

議会だより

かみやま

第 39 号

2019. 2. 15

12月定例会



<恒例の、上分新春互礼寒歩（1月2日）>

町長の諸般報告	3 頁
平成30年度補正予算、条例改正、その他	4～5 頁
12月定例会 一般質問	6～13 頁

12月定例会は、平成30年12月13日から20日までの9日間の会期で開催した。提出議案は平成30年度一般会計補正予算2件、30年度特別会計補正予算2件、条例の一部改正等5件、指定管理3件、議員発議案3件を審議すべて可決した。

一般質問では7議員が登壇し（6～13ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成30年12月定例会議案事項	掲載項
第1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸報告 ・ 平成30年度神山町一般会計補正予算（4号） 【上程】 ・ 平成30年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（3号） 【上程】 ・ 平成30年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（2号） 【上程】 ・ 町長等の給与に関する条例等の一部改正 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 職員の給与に関する条例の一部改正 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正 【上程】 ・ 学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議 【上程】 ・ 指定管理者の指定 【上程】 ・ 指定管理者の指定 【上程】 ・ 指定管理者の指定 【上程】 	4～5頁
第7日	一般質問 中谷秀久議員 佐出由恵議員 森本孝夫議員 杉本哲男議員 森本吉治議員 河野雅俊議員 高橋義英議員	6～13頁
第9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度一般会計補正予算（4号） 【審議】 【可決】 ・ 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（3号） 【審議】 【可決】 ・ 平成30年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（2号） 【審議】 【可決】 ・ 神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正 【審議】 【可決】 ・ 学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議 【審議】 【可決】 ・ 指定管理者の指定 【審議】 【可決】 ・ 指定管理者の指定 【審議】 【可決】 ・ 指定管理者の指定 【審議】 【可決】 ・ 平成30年度一般会計補正予算（5号） 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 神山町賃貸住宅設備及び管理に関する条例の一部改正 【上程】 【審議】 【可決】 	4～5頁
日	議員発議案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 神山町議会傍聴規則の一部を改正する規則 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願書 【可決】 ・ その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程】 【可決】 	

※第2日、第5日、第6日、第8日は議事の都合、3日、4日は休日により休会とした。

町長の諸般報告

東京で11月28日全国町村長会が開催。35項目の決議が採択され、内12項目が重点要望とされ地方創生の更なる推進、地方交付税等の一般財源総額を確保すること、道州制の導入はしないことなどが採択された。

▼11月22日から24日までの3日間旧広野小学校、体育館で徳島4K映画祭が開かれ5、200人の来場者があり、非常に賑やかであった。

▼女性消防団員に16名の応募があり、今後避難所での運営の協力には女性のきめ細やかでやさしい女性の対応が必要であり、ただいま礼式訓練を終え、年明けには正式設立の見込みであります。

▼防犯等のLED化は現在70%程度の工事が完了、今後の工事も順調に進めて行きたい。

▼平成30年度の地方交付税が昨年度より3537万円の減額であり過去2年で約6000万円と大きな減額となった。

▼地方創生関連施策にて10年間で221人が転入、ボランティアの消防団新規入団者34名の内15名が移住者の方である。また下分保育所入所者57名の内28名が移住者の方となっている。

▼12月9日、全職員参集して鬼籠野の体育館、公民館、グラウンドで避難所運営訓練を実施。避難所の設営、運営、職員の内動確保のありかたを、防災士4名、神山消防署の署員より教えを請う。

補正予算

結婚祝い金

予定組数をオーバーしそうなるため追加計上。

衛生費

小規模飲料水供給施設対策の補助金として1施設分追加計上。

災害復旧費

農地災害1ヶ所、農道災害1ヶ所、林道災害3ヶ所、町道災害4ヶ所、河川災害2ヶ所の工事費を計上。

土木費

町道ガードレール設置工事、並びに維持工事費を計上。



4K・VR 徳島映画祭 (360°シアター)

議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し下さい。定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局 TEL 676-1511 (IP2002)

平成30年度補正予算、条例改正、その他

平成30年度補正予算

一般会計（第4号）	補正額	2億4678万円（49億8671万円）
一般会計（第5号）	補正額	140万円（49億8811万円）
国民健康保険特別会計（第3号）	補正額	4580万円（8億4214万円）
簡易水道事業特別会計（第2号）	補正額	0万円（3億3447万円）
予算合計	補正額	2億9398万円（61億6472万円）

（ ）は予算総額

平成30年度補正予算、条例改正	
総務課	◎平成30年度一般会計補正予算（第4号） 地域集会施設改築費等補助金 300千円 電算システム修正業務委託金 3672千円 消防詰所新築工事設計監理業務委託料 600千円 消防詰所格納庫新築工事 4850千円 ◎条例一部改正 * 町長等の給与に関する条例等の一部改正について * 職員の給与に関する条例の一部改正について * 神山町賃貸住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について
税務保険課	◎平成30年度一般会計補正予算（第4号） 住民税システム導入業務委託料 4536千円 国民健康保険特別会計繰出金 812千円 後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 2703千円 ◎平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 国保システム改修業務委託料 270千円 一般被保険者高額医療費 2400千円 前年分療養給付費負担金返納金 2250千円
住民課	◎平成30年度一般会計補正予算（第4号） 施設修繕工事 3188千円 一般廃棄物最終処分場災害復旧工事 8752千円 結婚祝金 500千円 年金システム改修業務委託料 351千円
健康福祉課	◎平成30年度一般会計補正予算（第4号） 避難所緊急安全対策改修工事 551千円 児童手当交付金過誤納償還金 3052千円 子ども子育て支援交付金過誤納償還金 216千円 臨時職員等賃金 30千円 未熟児養育医療費等補助金返還金 137千円 ◎平成30年度一般会計補正予算（第5号） 保育所施設改修工事 1400千円 ◎条例一部改正 * 神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について ◎指定管理者の指定（神山町高齢者生産活動センター） 社会福祉法人神山町社会福祉協議会（神山町神領字本上角）

産業 観光 課	<p>◎平成30年度一般会計補正予算（第4号）</p> <p>スダチ消費宣伝用果実代 350千円</p> <p>農作物被害対策施設整備補助金 500千円</p> <p>移住者支援空家改修補助金 1000千円</p> <p>人工造林補助金 260千円</p> <p>◎指定管理者の指定（神山四季の里創造の森）</p> <p>社会福祉法人神山町社会福祉協議会（神山町神領字本上角）</p> <p>◎指定管理者の指定（神山温泉・道の駅「温泉の里神山」・神山農村ふれあい公園）</p> <p>株式会社神山温泉（神山町神領字本上角）</p>
建 設 課	<p>◎平成30年度一般会計補正予算（第4号）</p> <p>治山工事 5600千円</p> <p>小規模飲料水供給施設応急対策補助金 1000千円</p> <p>町道維持工事 7000千円</p> <p>ガードレール設置工事 1000千円</p> <p>現年農地農業用施設災害復旧工事 10000千円</p> <p>現年林道災害復旧工事 130000千円</p> <p>現年発生公共土木施設災害復旧工事 39000千円</p>
教育 委員会	<p>◎平成30年度一般会計補正予算（第4号）</p> <p>公民館施設改修測量設計業務委託料 2765千円</p> <p>◎その他</p> <p>学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議について</p>

平成30年神山町議会

第3回臨時議会

第3回臨時議会を平成30年11月6日に開催した。

◎議案第60号 平成29年度林道施設災害復旧事業（平成29年8月6日から7日にかけての台風5号災害）柴小屋線1号箇所工事変更請負契約の締結について

消防議会

名西消防組合定例議会

平成30年第2回定例議会は12月26日石井町役場議場で開催した。本定例議会では、議案4件を審議し、原案どおり可決した。

議案第4号

名西消防組合職員の育児休業に関する条例の一部改正について。

議案第5号

名西消防組合職員の給与に関する条例の一部改正について。

議案第6号

平成29年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算認定について。

歳入総額

465、667、355円

歳出総額

455、926、693円

歳入歳出差引額

9、740、662円

議案第7号

平成30年度名西消防組合一般会計補正予算（第1号）について。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8、364千円を追加し予算の総額を446、442千円とした。



一般質問



中谷秀久 議員

質問①

町が業務委託する指定管理者・組織の業務内容や財務などの運営チェックはどのように行われているのか。

答弁（健康福祉課）

社会福祉協議会、高齢者生産活動センターは町理事会、評議員会及び県東部保健福祉局、町健康福祉課より監査を、社会福祉法人有誠福祉会、養護老人ホーム寿泉園については町監査委員および県の長寿生きがい課、評価検査課より監査を、神山つなぐ公社は業務内容、財務について外部有識者の評価委員および町監査員による監査と6月議会への報告を、NPO法人グリーンバレー、神山町農村環

- ① 町が業務委託する指定管理者組織について
- ② 医療介護・社会福祉について
- ③ 林業の取り組みについて
- ④ 今後の行政運営について

境改善センター（ほか3施設）

は、毎月報告にある施設使用内訳で使用人数、徴収件数、徴収使用料に関しての確認と、5月に教育委員と行う施設訪問で業務報告と、年度終了後の実績報告書類による確認を、神山温泉は第三セクターの株式会社であるので株主総会と取締役会で運営しており、町からは町長と副町長、町議会議長が取締役で出納室長が監査役となっているほか、町監査委員による監査と決算の議会報告、毎月の利用者報告によるチェックを行っている。

再問

つなぐ公社は財源が地方交付税の増額分ということで、官民一体となって成功させる必要があるためコンプライアンス（法

令順守義務）の引き締めが必要ではないか。



ボランティアによる植栽の様子(共同の森づくり)

答弁（町長）

地方創生の推進交付金を国からいただき、常に公社とは町担当職員、幹部職員、私も含め常に意見交換、協議をしながら推進している。この取り組みは今

後ますます推進していく必要があり、更に町と公社とあるいは民間の方々と連携を深めていく必要がある。

質問②

医療介護、社会福祉について既存の施設はほぼ満床である。老人ホームの増設やグループホームの新設など現在の収容施設を増やす必要性はないか。

答弁（健康福祉課長）

前向きに検討している。高齢者施策の展開、高齢者の健康と生きがい作りでは、ライフサイクルに沿った生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を図っていく。介護予防・生活支援サービス事業では他市町村と比べても事業所が少なく支援も限られているので、地域ニーズを満たすためにも支援が実施できるように取り組んでいく。一般介護予防事業では、介護予防に関する知識や情報の普及啓発に努める。

質問③

町の森林はほとんどが人工林であるが道路保全、災害防止、

生態系の保護を考慮した今後の対策を聞きたい。

答弁（産業観光課長）

道路保全是集落近くの里山林の整備で町道管理を行うと共に要望があれば陰切り事業として伐採も行い引き続き相談に乗っていく。災害防止は保安林指定などの山林整備として治山事業があり、県に将来の災害に備えて砂防工事の実施や森林整備などの発注事業を行っていた。また、町も危険箇所の森林整備を進める。生態系の保護は一部の町有林に広葉樹を植栽し水源林育成に取り組んでいる。

質問④

今後の行政運営について。永年にわたる政治活動だが続投される意志を強く伺いたい。

答弁（町長）

神山町が少子高齢化、人口減少社会まったただなかで、また国を挙げて地方創生を推進していかねばならないというもとの、業者任せにせず住民の代表を集結して作り上げた「まちを将来世代につなぐプロジェクト

ト」である。もう後が無いという状況のなかで全て実現しなければならぬ。地方創生の交付

一般質問



佐出由恵 議員

質問①

森林管理道倉羅川井峠線が開通し供用が開始されたが、安徳天皇の伝説が残る東宮御所神社の横を通り杉林の間から山々が展望できるなど、歴史に興味がある方や登山を趣味とする方にも、観光道路として通用するコースだと思う。

神山側の山の説明図や東宮御所神社や東宮山への道標や由来書の看板などを設置し、隣接する美馬市や吉野川市と連携して観光道路として活用してはどうか。

金等々が5年で、今折り返し地点3年目に入っていることから、この5年は責任を持って見

届けるためにも、4月21日の統一地方選には出馬させていたいただきたい。

- ① 森林管理道倉羅川井峠線について
- ② 高瀬の堰について
- ③ 集落と集落を繋ぐ道路について

答弁（町長）

開通式でも、観光用道路として利用出来るのではないかとの来賓の挨拶があった。

神山町は、今年度中に森林ビジョンを策定するが、その中に

杉や檜に適さない山は樹種を転換し広葉樹に変えていく施策を盛り込んでいく。開通式の会場となった場所については、所有者からもみじや桜などの落葉広葉樹の植樹やベンチの設置の要望を受けているので、その方向性で検討している。

質問②

入田用水の取水のための高瀬の堰が、今年の度重なる台風の影響で大きく壊れている。以前は魚道があった形跡があるが、近年は魚道としての役目を果たしておらず、増水時でも魚の遡



森林管理道倉羅川井峠線からの眺望
(木屋平方面)



高瀬の堰

上が阻まれている。

また、増水が予想されても中央部の板を外すなどの管理が出来ていないため、水の流れが変わったとも言われている。

堰の改修時に以前の形状に戻し、魚道も設置しよう堰の管理者である徳島市に申し入れるべきではないか。

答弁（町長）

ゆりさし（止水板）は、最近では設置したらそのままという状況にある。漁業協同組合、水組合、県の三者が魚道の設置

を話し合った経緯もあるが設置には至っていない。下流部にある高瀬の堰は魚類の遡上には非常に重要なポイントの施設であるので、入田用水や漁協の方と話しが出来るような状況を考える。

質問③

北養瀬と南養瀬を繋ぐ道路があと少しを残し止まっている。両地区の利便性向上のために車で通行出来るよう整備すべきではないか。このような場所が町内にあと何箇所あるのか。

一般質問



森本孝夫 議員

質問①

① 入居状況はどのようなになっているか。

② 入居者の公募についてどのような

答弁（建設課長）

町道日浦馬地線は僅かの距離を残しているが、経済効果を検討し今後の見通しとして、現在は考えていない。あと僅かの距離を残したままの路線はない。

再問

広野にも、あと少しを残している場所が他にも有るが、それでは今までの工事が無駄になってしまっているので、精査し整備してどうか。

答弁（町長）

その場所は知っているが、利用

- ① 町営住宅について
- ② 町内の荒廃住宅について
- ③ 公衆トイレ設置について

うにしているか。

③ 住宅の修理、改善についてどうされているか。

④ 入居者の条件は。

答弁（住民課長）

① 町営住宅の入居状況は、平成



南養瀬地区の町道

度の高い路線を優先的に整備せざるを得ないという財政状況がある。

30年12月1日現在で、町営住宅が11団地、単独住宅が1団地、合計12の団地を管理している。管理戸数が177戸、内入居されている戸数が147戸で、現在30戸の空き室がある。内17戸



第2寄井団地

はそれぞれ耐用年数が過ぎており、募集を行っていない。②公募は、入居できる団地について、その後職員が確認をし、修繕や改修を行い、町ホームページ、また防災無線を利用して募集を行っている。③住宅の修繕や改修が必要な場合は、神山町に入札参加資格の登録をしている各事業所に依頼して、修繕、改修を行っている。④入居者の条件は、神山町営住宅設置及び管理に関する条例の第6条に規

定をしている。主な条件は、町内に住所を有し、国税及び地方税を滞納していない者等である。

質問②

町内に荒廃住宅が見られ、神山の景観を崩しており、また、危険な建物も見られる。町はどのように対策をしているか。

答弁（建設課長）

荒廃住宅は、空家除去支援事業として、国県補助事業と町単独事業の二通りの事業がある。

国県補助事業には、老朽危険空家除去支援事業として除去工事費に対して5分の4の補助で、国費5分の2、県費5分の1、町費5分の1、残り5分の1が個人負担となる。なお、補助金の上限が80万円となっている。町単独事業、放置空家除去支援事業として、除去工事費に対して5分の2の補助

で、残り5分の3が個人負担となる。なお、補助金の上限が40万円となっている。この事業は、町民サポートに掲載し各戸配布で周知をおこない、推進したいと考えている。

質問③

12番札所焼山寺に参拝される歩き遍路さんがたくさん阿川地区を通る。その時に、本名、福原地区に公衆トイレがないために、民家のトイレの使用を頼まれるので迷惑をかけている。本名地区に設置場所の協力してくれる場所があるので、設置してはどうか。

答弁（町長）

この質問については、平成28年3月の議会でも、同様の質問があった。その時の私の答弁で、用地等々の協力をお願いしたい、ぜひ設置をしたいという風に答えている。更にそれが進みまして、議員のお話では、用地協力者がすでにいらっしゃるということなので、昨今の世界遺産登録に向けての遍路文化、非常にブームになっており、外国

人の方も非常に多い、歩き遍路も多いというようなことから洋式トイレの設置というのは必然となっている。できるだけ早い時期に、用地関係者と話を進め、設置したいと思う。



公衆トイレの設置が待たれる本名地区

一般質問



杉本哲男 議員

① 町民体育館について

い南海トラフ地震による大規模災害の避難場所とも言える体育館等が建て替え、又は駐車場の拡張の予定等案があるか。

答弁（町長）

現在神山町体育館は昭和42年4月に落成し、屋根や床などの内装を改装、修繕しながら神山中学生の部活動、少年野球や少女バレーの練習場、又は高齢者体育大会、消防出初式天候不順時の会場、音楽などのコンサートや演劇が行われている。

これは、スポーツや文化の中心施設であると町民の方々は認識されていると思う。去る10月に子ども議会で中学生が質問したように、今の町民体育館は築50年を超え、雨漏りや傷み、耐震基準に不安を抱えている。

明日にでも起こるかもしれない

老朽化している町民体育館は文化スポーツの中核施設である、そうした中早く建て替える必要があるのではないかという中で、計画があるのであれば示して欲しいとの事だが、計画というものはまだ立てていない。しかし間違いなく非常に重要な施設である。「まちを将来世代につなぐプロジェクト」の「まちを将来世代につなぐには」という基本目標の中に良い学校と教育があると言う事も謳われている。

立てて推進したいと思う。南海トラフ巨大地震も切迫しており、県内各地の町民体育館のほとんど避難所指定も行われているが神山町体育館は50年を経過して非常に老朽化が進んでいるという非常に残念な結果であるので、いち早く計画を立て文化、スポーツの拠点施設として活用出来るように更に大規模発災時には避難所施設として活用出来るように考えている。



昭和42年4月落成の神山町民体育館

一般質問



森本吉治 議員

質問①

町民体育館は築40年余り経過し、和式トイレのままであり、今年から高齢者運動大会も天候を気にせず開催できるということで体育館での開催となったが、女性用のトイレは昔のままであり洋式トイレになれている人にとっては、膝をまげての使用は、膝、腰に病気を持っておられる方にとっては苦痛であり、洋式トイレへの交換はできないか。

答弁（町長）

町としてご不便をかけていることに残念に思っている。町民体育館のトイレ洋式化を考えま

- ① 町民体育館の洋式トイレへの改修について
- ② 消防用格納箱を町消防団で維持、更新はできないものか



神山町民体育館トイレ

すときに、先に体育館の建て替えを出来るだけ早くと思っっている、財政上厳しいのだけれど、多くの間辛抱していただきたい。

質問②

消防用格納箱を町消防団で維持、更新はできないか。

消防用格納箱は県道沿いの民家の密集地に数100メートルおきに設置されており、初期消火にはなくてはならない設備である。この箱が地域によって老朽化しており、町消防団の費用で修理、更新はできないものか。消防団で維持、修理、更新をするものと思っっているのだが。

答弁（総務課長）

消防ホース格納箱も管理、設備更新については、地元の自主防災組織、消防各部、地元など様々な管理体制で行っていただいている。

また格納箱は地元がお金を出し合い設置しているので設置

場所、管理体制について町は把握できていない。

自主防災組織へは町防災資機材等整備費補助金交付要綱で、資機材の補助金として、上限は30万円までで二分の一の補助金制度を設けている。この格納箱は補助金対象となるので、自主防災組織から要望書を出していただけたら対応したい。また世帯数の減少により管理できていない物や更新できていない物が増え、地域の防災力が弱体化してしまわないかという懸念も森本議員のご指摘のとおり対応していかねばならない課題と考えている。



ホース格納庫

一般質問



河野雅俊 議員

質問①

全国より一足早く超高齢化社会を迎える徳島県にあり、この山間地域の神山町では特に、高齢になっても生活のあらゆる場面で車両の活用が必要不可欠になっている。今後高齢化も進み高齢者の免許証返納に伴い、ますます交通弱者の日常の交通手段が失われていく中で、将来を不安視する声を聞くが、交通の空白地域、不便地域の解消等を図るために町としての考えは。

①コミュニティバス等について

答弁（健康福祉課長）

町では、交通弱者の交通不便の解消を図るために、平成22年1月から神山町高齢者等タクシー利用助成事業を、70歳以上の高齢者等の方を対象に、タクシー料金の助成を行っている。地域で自立した生活が送れるようタクシー利用料の一部を助成することで、高齢者等の福祉の向上を目的としている。平成29年度からは、運転免許証を自主返納している方も対象としており、また、高齢者路線バス定期券購入費助成事業により、平成27年4月から徳島バスが、65歳以上の方を対象に販売しているながいき定期券の購入費用の3割を助成している。現段階では、タクシーを利用している交通手段が一番コストの少ない効率的な輸送手段と考えている。いつでもどこでも行ける自由度があり、地域の実情にあっていると思われる。



コミュニティバスに使用できる1BOXカー

一般質問

高橋義英 議員



①中学生の自転車通学について

車通学が優先されると思う。

答弁（教育長）

質問①
神山町は平成27年に中学校が統合されスクールバスが出ている。現在、神山中学校は全校生徒65人で、そのうち25人が自転車通学している。そこで自転車の価格を調べると、2万〜4万円と高い人では6万円を超えていた。入学祝い金3万円ですクールバスで通学できる生徒は自転車を購入することなく家の近くでバスの送迎を受けられるのに対し少なからず不均衡ではないか。何らかの補助があれば、少し遠くても自転車通学されるお子様も出てくると思う。体力や筋肉をつけるには、自転

現在、神山中学校の生徒は、スクールバス、自転車、徒歩等で通学している。スクールバスの運行は、平成13年4月1日に施行された神山町スクールバスの運行及び管理に関する条例で定められている。平成26年4月1日から広野地区及び神領地区の小学生で、通学距離が概ね1キロ以上で徳バスの便のない場所は、スクールバスを利用する事が出来るようにした。この改正は、幼い児童の通学の安心安全と、保護者の負担軽減を図るために公共交通機関を利用できない児童のために改正したものです。中学生は、身体も成長していること、自転車通学していることからスクールバスを利用

できるようにはしなかった。

こうした中で、自転車通学生に自転車購入費の補助をする、徒歩通学生やスクールバス通学生でバス停までが遠く、何

らかの交通手段でバス停まで通っている生徒との間に不均衡が生じることとなるので、自転車通学生だけへの自転車購入費等の補助は難しいと考えている。



中学校への通学に使われている自転車

平成30年度 町村監査功労者表彰式・
町村監査委員全国研修会に参加して

11月1日東京メルパルクホー

ルにて、町村監査功労者の表彰式があり終了後『地方公営企業の現状と課題』として総務省自治財政局公営企業課長 山越伸子氏より地方公営企業の役割* 地方公共団体は、一般的な行政活動のほか、水の供給や公共輸送の確保、医療の提供、下水の処理など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供する様々な事業活動を行っている。*こうした事業を行うために地方公共団体が経営する企業活動を総称して「地方公営企業」と呼び、サービスの生産提供に要する経費は、対価として受益者から受け取る料金収入により賄うことを原則とした、自

立的な生産経済活動を行う。地方公営企業の事業数は、平成29

年度末現在8、398事業で、前年度末に比べ136事業、1・6%減少している。事業別にみると、下水道事業が最も多く、次いで水道事業、病院事業となっている。*公営企業とは、地方公共団体が行う事業のうち、企業と観念されるもの。*一般会計においては税収等を財源として事業が行われるのに対し、公営企業の事業に要する経費については、原則として事業の経営に伴う収入が充てられる。

次いで『効率的監査の執行と監査責任について』公認会計士 池田昭義氏は、「監査」には、

指摘、保証、指導の様々な機能がありいずれも重要な機能であるが、どの監査主体についてどの機能により重点を置くかということを念頭に置いて、監査制度の充実強化の方策を考える必要がある。地方公共団体の監査制度の充実強化の方策について、①監査基準、②監査委員の専門性及び独立性の確保、③監査委員事務局の専門性及び独立性の確保、④内部統制の整備、



平成30年度監査委員全国研修会会場

⑤外部監査制度のあり方、⑥地方公共団体の監査をサポートする体制の構築、の順に検討していく。地方公共団体をはじめとする様々な関係者の意見を十分踏まえながら、理想とする制度を検討した上で、実際に実現可能であるか等も含め更に繊細な制度設計を検討していくことが必要である。(河野雅俊)



平成30年度 町村監査委員全国研修会

平成30年度監査委員全国研修会

第62回町村議会議長

全国大会に参加して

平成30年11月21日に開催された、標記の大会と22日の国会議事堂の見学、神奈川寒川町議会視察の報告をする。

NHKホールで開催された全国大会には全国の町村議長と開催者が参集した。徳島県からは県内町村議長15名と事務局長15名、県町村議長会2名の32名が参加した。「全国の町村議会の総意を結集し、我々町村議会議員が、一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期することを目指す」として大会運営がなされた。閉会行事には安部内閣総理大臣他多数の国会議員のご列席のもと盛大に実施された。続いての議事に移り、(1)要望 (2)決議 (3)特別決議 (4)実行運動方法 について決議されました。

た。閉会后、手嶋龍一氏（外交ジャーナリスト、作家、元NHKワシントン支局長）による特別講演があった。「激動の21世紀をどう生き抜く

か、中口朝鮮半島情勢と日米同盟」と題した熱弁に意義ある一時を得た。翌日は神奈川寒川町議会を視察研修した。寒川町は人口48、138人の市並みの大きな自治体である。寒川町議会では丁寧丁寧なる受入れをして頂いた。研修事項は(1)通年議会について、(2)タブレットの端末導入について、研修した。通年議会については既に

勝浦町議会が実施している関係もあり詳しい研修はなかったが(2)タブレット端末の導入については実際にタブレット端末を使った研修をさせて頂いた。紙面の都合で詳しくは記せないが、町村自治体として、早かれ

遅かれ、タブレット端末導入は避けて通れない時代の要請かと強く感じた。
(西崎哲夫)



第62回町村議会議長全国大会会場



神奈川県寒川町での研修

神 山 の 風 景



平成31年神山町成人式



平成31年神山町消防出初式

平成31年神山町の新春を飾る「成人式」と「消防出初式」が挙行されました。
 1月2日に農村環境改善センターで執り行われた神山町成人式では40名の新成人が誕生しました。
 1月6日には町民総合運動場で執り行われた消防出初式には消防本団と6分団、女性消防隊、名西消防組合署員の297名が参加して盛大に挙行され、鮎喰川にて一斉放水し式典の最後を飾りました。

議会の動き

- 12月 26日 名西消防組合定例議会
- 1月 2日 神山町成人式
- 6日 神山町消防出初め式
- 7日 議会広報調査特別委員会
- 24日 議会広報調査特別委員会
- 8日 2月 徳島県市町村トップセミナー
- 11日 近畿神山会総会
- 15日 徳島県町村監査委員協議会定期総会
- 19日 勝名地区町村議会議員研修会
- 下旬 議会運営委員会
- 下旬 財政援助団体及び指定管理団体の監査
- 3月 1日 徳島県町村議会議長会定期総会
- 上旬～中旬 3月定例会
- 8日 神山中学校卒業式
- 15日 町内小学校卒業式
- 27日 阿北環境整備組合議会

表紙説明

20年前に始まった上分地区住民が1月2日に年頭の互礼を交した後、寒歩する年頭の行事として定着した意義ある上分地区の年頭行事。
 写真提供 松浦一郎氏

編集後記

平成最後の31年新春を迎え皆様あけましておめでとうございます。今年亥年で猪突猛進の年でもあり選挙戦の年でもあります。4月には徳島県知事選挙と徳島県議会議員選挙を皮切りに神山町長選挙と同時に町議会議員補欠選挙も行われます。有権者にとっては一番身近な選挙ですので投票に参加していただきたいものです。第65回徳島駅伝が、1月4日から6日までの3日間開催され、名西郡チームが3日間共5位でゴールインし今までになかった大躍進の年でした。選手の皆さんご苦労さまでした。4月1日には新元号が発表されるそうです。5月には天皇が退位され、皇太子が即位されます。新しい門出に期待したいものです。
 (新居榮二)